



山科区シンボルマーク

(広報資料)

平成23年2月3日

山科区役所

担当 区民部総務課

TEL 592-3066

「第2期山科区基本計画」将来像のキャッチフレーズ 優秀作品の表彰について

山科区では、平成23年度からの10年間を計画期間とする「第2期山科区基本計画」の策定に当たり、平成22年7月から8月にかけて山科区の将来像を描くキャッチフレーズの募集を行いました。

この度、応募された156件の作品の中から、「山科区基本計画策定委員会」での議論を経て優秀作品を選定し、下記のとおり表彰しますので、お知らせします。

記

1 受賞者

おくだ さだひと
奥田 貞人氏

(山科区の陵ヶ岡学区在住, 77歳)

2 優秀作品

「心豊かな 人と緑の“きずな”のまち 山科」

「緑豊かなこの山科が、人々の強い“きずな”で結ばれた心豊かなうるおいのあるまちでありますように」という受賞者の願いが込められています。

3 表彰式

(1) 日時 平成23年2月13日(日) 午前11時10分から

(2) 場所 京都市東部文化会館ホール

(京都市山科区柳辻西浦町 TEL 502-1012)

(3) 出席者 山科区長 西出義幸

山科区基本計画策定委員会座長 織田直文(京都橘大学教授)

〃

副座長 幸田光雄(山科区自治連合

会連絡協議会会長会平成21年度代表)

◇ 山科区民ふれあい事業「区民芸能フェア」の冒頭で実施

(参考)

◇ 「第2期山科区基本計画」について

平成23年度から10年間の山科区のまちづくりのビジョンを示す計画で、計画の策定に当たり、平成21年度から、各種団体代表者の委員や区民公募の委員の皆様からなる「山科区基本計画策定委員会」を設置し、審議を進めてきました。

平成22年度には、計画素案を公表したうえで、7月から8月の2箇月間にわたって実施したパブリック・コメントにあわせて、山科区の将来像のキャッチフレーズを募集し、応募された156件の作品の中から、「山科区基本計画策定委員会」での議論を経て優秀作品を選定しました。

優秀作品「心豊かな 人と緑の“きずな”のまち 山科」については、平成23年3月上旬に発行予定の「第2期山科区基本計画」の冊子に、山科区の将来像のキャッチフレーズとして掲載されるほか、その他の印刷物や山科区役所ホームページ等においても幅広く活用していく予定です。

なお、山科区の将来像のキャッチフレーズは次の3つのコンセプトからなっています。

水・緑が彩る、うるおいのまち

将来の山科区のまちには、区民の手によって、河川や疏水の流れ・杜の緑が守られ、また、まちなかの水と緑がつくり育まれて、さらにうるおい豊かでみずみずしい都市空間・生活空間が形成されています。そこには、さまざまな知恵と行動が交わるなかで、快適で、地球環境と調和した暮らしが営まれています。

魅力と元気がいっぱい、かがやきのまち

山科区に数多くある、先人から受け継いだ歴史的・文化的資源が、その価値のもとで互いに結び付けられてさらに生かされています。そして、まちに誇りをもつ区民の力と学生等の若い力が、区内外に「山科の魅力」を発信する底力となって山科区全体が活気付いており、暮らすひとと訪れるひとと、みんなが“山科区”に親しみ“山科区”を楽しんでいます。

確かな自治の気風がつくる、あんしんのまち

互いが互いを見守り合い、ともに助け合う自然な心の動きが、優しい眼差しや声かけとなって「ご近所付き合い」から「地域づくり」にまで広く行き渡っており、確かな自治の気風とあいまって、なごやかな雰囲気と、まちと暮らしの安心・安全をつくっています。